

# シミュレーション研修が終了しました！

11月14日～18日の5日間で、新卒者を対象にシミュレーション研修を実施しました。多重課題・時間切迫の状況下の事例をもとに、実際の場면을想定した演習を行いました。演習後には、患者の安全を考慮した優先順位の考え方、基本に沿った看護ケアの実施、先輩看護師への報告・連絡・相談、患者に安心感を与える態度や声掛けの仕方という4つの視点からグループで振り返りを行いました。グループメンバー間で話し合うことで新たな気づきを得て、学びを共有していました。

5部署の教育担当者が、演習時の助言やグループワークの司会として研修に参加しました。



実際の現場を想像できるように、ナースステーションやトイレの場所を設定し、輸液ポンプや心電図モニターの音も鳴らして演習を行いました。



【先輩への応援要請の場面】  
報告・連絡・相談のタイミングや適切な情報の伝え方について意見を出し合い検討しました。



【右麻痺のある患者さんへの歩行介助の場面】  
支え方や声掛けなど転倒予防のための看護ケアを振り返りました。

【痛みのある患者さんへの対応の場面】  
痛みのアセスメント方法、丁寧な声掛けや説明が患者さんの安心感に繋がることを学びました。



【薬剤のダブルチェックの場面】  
焦りやすい状況でこそ、患者さんの安全を守るために、基本の確認作業を怠らないことが大切であると再認識していました。

グループワークを通して、多重課題・時間切迫の状況における自身の傾向と今後の課題を明確にすることができました。



演習が終了するごとに振り返りを行いました。良かった点や改善すべき点を話し合い、より良い実践を目指して、次の演習につなげました。

